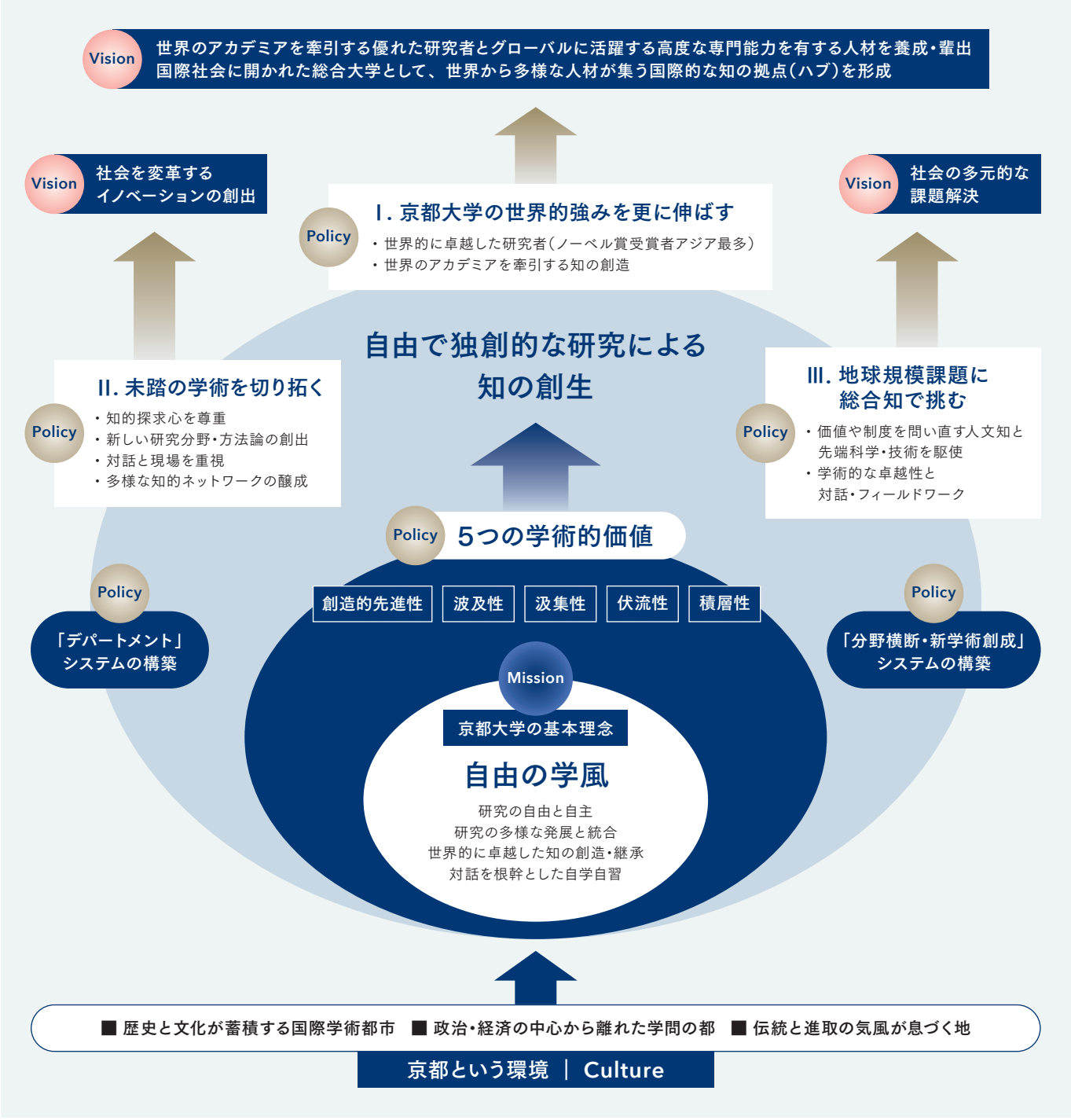
国際卓越研究大学として

―世界から多様な研究人材が集う知の拠点へ―

京都大学は、令和8（2026）年7月31日付で「国際卓越研究大学」の認定を受け、同年8月7日付で「国際卓越研究大学研究等体制強化計画」が認可されました。
国際卓越研究大学として、京都大学は今後も、個性豊かな研究者が自らの知的好奇心に基づき、既成の概念にとらわれることなく自由闊達な対話を重ねられる「自由の学風」のもと、新たな学問的発見・発明を生み出し続けます。そして、社会にインパクトを与える知の源泉としての役割を果たしつつ、充実した研究環境と支援体制を確保することで、世界中から多様な研究領域の優れた研究者が集う知の拠点（ハブ）となることを目指します。

国際卓越研究大学のミッション・ビジョン・ポリシーの全体像



デパートメント制の導入を核とした大学改革

研究等体制強化計画では、ビジョンを実現するために、学術領域を基盤とするデパートメント制の導入を核として、教育・研究、ならびに大学運営のすべてにわたる組織改革・システム改革を掲げています。

研究改革

- **独創的かつ卓越した学術研究成果を生み出し続けられる組織・支援体制の構築**
- **研究人材・研究時間・研究環境・多様性に配慮した戦略的な研究資源アロケーションの実現**

- 学術領域を基盤とするデパートメント制の導入
- デパートメントの枠組みを越えた「分野横断・新学術創成」システムの構築
- 次世代の高度研究人材の獲得・育成（優秀なポスドク・若手研究者のポストの拡充 等）
- 本学独自の５つの評価軸（COMON）の導入
- 研究力強化に関する大学の重要事項を審議し意思決定を支援する「研究諮問委員会」の設置

教育改革

- **デパートメントの研究力に裏付けられた高度人材の育成システムの整備**
- **アカデミアのみならず多様な分野での活躍を促すキャリアパスの創出**

- メンターシップに基づく高度な大学院教育の推進（デパートメントごとの学位プログラム 等）
- 社会の要請に応じた教育の展開
  （アントレプレナーシップ教育、社会人向けリカレント教育プログラムの拡充 等）
- 優秀な留学生の増加と国際共修環境の整備

成長戦略

- **学術研究成果を社会・経済価値につなげる体制・仕組みの整備**
- **創出した価値を学術研究への再投資、独自基金の拡大へと循環させる仕組みづくり**
- **ファンドレイジング、グローバルスタートアップ創出等の相乗効果による外部資金獲得増（自立的財政基盤の確立）**

- 成長戦略本部における寄付・スタートアップ投資・知的財産・共同研究等の総合マネジメント
- 各事業の相互作用・相乗効果による外部資金収入の平均年5%成長
- 学術的・社会的インパクトに基づくファンドレイジング
- 成長戦略のための海外拠点網と現地展開の拡大

経営改革

- **総長・プロボスト・CFOによる戦略意思決定システムの整備**
- **「教員組織／事務組織」から「研究組織／教育組織／支援組織」への再構築**

- 自立的財政基盤確立に向けた大学独自基金造成
- 大学経営人材を確保・育成するための人事・給与制度の改革
- 多職種協働型の総合的な支援マネジメント体制の整備